

パブリックコメントの結果報告書		
【パブリックコメントの実施期間】 令和7年5月16日から令和7年6月16日		
パブリックコメント1件	ご意見	上下水道局回答
	①単身世帯で水道の使用料は4立法となっている。今は単身世帯が水道料金を負担して財源を賄っている現状が見えるため、最低使用量を引き下げてほしい。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。洗濯機やトイレなども節水型が普及したことや市民の皆様の節水意識の向上もあり、1人1日の使用水量はわずかではありますが減少傾向にあります。経営環境の変化に対応しつつ、基本水量のあり方や基本料金の引き下げなど料金体系について次回の料金改定の際に併せて検討を行いたいと考えております。
	②こどもの国付近の排水路では雨水が多く排水されているため、水力発電として利用できないか？発電を利用して、排水路に隣接する放棄された田畑などがあれば、その発電を利用しての水耕栽培への活用、売電により、老朽化対策への費用として活用できるのではないか。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。使用水量が年々減少していく中、安定した水道事業の運営のため水力発電の活用など、料金収入以外の収入の確保に努めることも重要な要素と考えており、料金収入以外でどのような収入が確保できるのか情報収集を行い、調査研究していきたいと考えております。
	③沖縄市は洪水警報がよく出る。雨水が一度に流れないシステムを作ったらどうか。大雨のとき高台では水を留めおく、洗い物を制限するなど。	ご意見をお寄せくださりありがとうございます。沖縄市においては、比謝川の上流部に雨水調整池を整備するなど、雨水が一度に大量に流れ込まないシステムを浸水対策に取り入れております。また、市民の皆様に対してもご家庭で雨水貯留や雨水浸透施設の設置をする際に補助金を設けており、公共と地域が連携する取り組みを進めております。